

次内膳供御膳、膳八盤自南供之 次供残御膳、○中略

踏歌節會次第○中略

次内膳供御膳、次供残御膳

〔禁裏年中行事細記正月〕白馬節會次第○中

次内膳供御膳八盤 次供残御膳四盤

次給臣下粉熟

五四三二本膳膳膳膳膳

〔尺素往来〕本膳追膳三膳、大汁、小汁、冷汁、山海苑池之菜、誠調百味候也。
 〔四條流庖丁書〕一飯ノ獻立ノ事、本膳ノ中ニハ必不紛定事ニハナマス用處ニ、近代無其義、不可然、ヤキモノ、事ハ、本膳ニハ魚ノヤキモノ、二ノ膳ニハ鳥ノヤキモノ有ベシ、是ヲ本膳ニ雙テ鰐ノヤキモノヲ置事、四條六條ノ日記ノ外成ベシ、不可有之子細也。

〔宗五大草紙上〕公方様諸家へ御成の事

一先年金仙寺貞宗朝常の御城亭御成の時、御肴參たる次第大方注候、初獻ぞうに二獻まんぢう、又二獻めにすひ物參候參候事も候心の三獻すひ物、三獻過候てぐご參候、本膳に御まはり七ぐござはる、二の膳に御まはり五、御汁二ツ、又三に御まはり三ツ、御汁二ツ、四の膳は興ノ御膳を、公方に申候、御まはり三、御汁二ツ、五に御まはり三ツ、御汁一つ、六同、七同同又五の膳まで參り候時も、御汁御まはりの數同前、ぐご、御ゆづけ、共に御かはらけ。

〔天内家壁書〕椀飯同御節并所々御出之事○中略

一問由へ御おそほの事、御祝并進物已下如例、御肴一獻參りて御臺參べし、御臺は本膳に御さい六ツ、二の膳に御さい三ツ、三の膳に御さい三ツ、御汁は本膳に一つ、精進二の前に二シルヤたるべし、何れの所へ御出のときも、御相伴衆までは此準據たるべし、近習衆は本膳にさい三、汁二ツたるべし、外様衆は本膳にさい三、ひやしる一つたるべし、但總別之所に御出之次第、時により御